

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成22年	平成21年	対前年増減	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年
						時 分 秒	時 分 秒
出 生	46,818	46,084	734	9.3	9.2	11' 14"	11' 24"
男	24,211	23,374	837	10.2	9.9	21' 43"	22' 29"
女	22,607	22,710	-103	8.5	8.6	23' 15"	23' 09"
死 亡	46,996	44,879	2,117	9.3	9.0	11' 11"	11' 43"
男	24,231	23,320	911	10.2	9.8	21' 41"	22' 32"
女	22,765	21,559	1,206	8.6	8.2	23' 05"	24' 23"
(再掲) 乳児死亡	105	107	-2	2.2	2.3	83 : 25' 43"	81 : 52' 09"
新生児死亡	55	48	7	1.2	1.0	159 : 16' 22"	182 : 30' 00"
自 然 増 減	-178	1,205	-1,383	-0.0	0.2
死 産	1,366	1,342	24	28.3	28.3	6 : 24' 46"	6 : 31' 39"
自然死産	582	503	79	12.1	10.6	15 : 03' 06"	17 : 24' 56"
人工死産	784	839	-55	16.3	17.7	11 : 10' 24"	10 : 26' 28"
周産期死亡	200	186	14	4.3	4.0	43 : 48' 00"	47 : 05' 48"
妊娠満22週以後の死産	160	153	7	3.4	3.3	54 : 45' 00"	57 : 15' 18"
早期新生児死亡	40	33	7	0.9	0.7	219 : 00' 00"	265 : 27' 16"
婚 姻	29,247	29,419	-172	5.8	5.9	17' 58"	17' 52"
離 婚	10,952	11,121	-169	2.18	2.22	47' 59"	47' 16"

	平成22年	平成21年
合計特殊出生率2)	1.44	1.37
年齢調整死亡率3) 男	5.6	5.5
女	2.7	2.7

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。